

岩国市初のＩＣＴ施工はスマートコンストラクションで！



現場を強力サポート スマートコンストラクション

■■現場詳細■■

山口県岩国市

錦川広域河川改修第1工区河床掘削工事

【施工範囲】26,000m²

【施工土量】切土7,300m³

【ソリューション】3次元測量

スマートコンストラクションアプリ

■■導入経緯■■

(有)角川建設 主任 小田真人さん

今回の現場は河川に蓄積した土砂を取り除く河床掘削工事で、岩国市で初めてのＩＣＴ活用工事でした。今後更に進んでいくＩＣＴ施工を経験することが、これからの建設現場において必要不可欠だと思うので、ぜひこの機会にＩＣＴ施工をやってみたいと思いました。初めてのＩＣＴ施工には発注者対応など不安な面もありましたが、スマートコンストラクションの充実したソリューションや導入事例などの豊富な情報量に魅力を感じ、初めてのＩＣＴ施工にPC200iを導入することに決めました。



主任 小田真人さん

山口県 (有)角川建設 様

岩国市での公共工事を主体とした

自社施工の会社。

チャレンジ精神旺盛な社長の下、

何事にも前向きに

取り組んでいる。

掲載月:2020年4月

初めてのＩＣＴ施工も 安全で質の高い施工が可能

■■導入効果■■

(有)角川建設 主任 小田真人さん

初めて導入したＩＣＴ建機ですが、まず感じたのは施工と管理が楽ということでした。キャビン内のモニタを見ながら作業をすることで掘削場所や深さが把握でき、補助作業員いらずでオペレータ1人での施工が可能になりました。また、河川の工事では、施工前に土量計算書の提出が必要となりますが、ドローンとレーザースキャナを使用した3次元測量で取得した現況の3次元データと、設計図面で作成する3次元設計データを、スマートコンストラクションアプリにアップロードすることにより、立体的3Dビューワーとして自動生成され、簡単に土量計算を提出することが出来ました。出来形測量の前に予期せぬ大雨が降り、水位が上昇して施工面が隠れてしまうという問題が発生しましたが、水中部の施工履歴データを活用することで、急いで計測作業をする必要もなく、初めてのＩＣＴ施工を安全で質の高い施工で実現することが出来ました。

